

市政そここが知りたい

一般質問は、議員に与えられた発言の場で市政について質問をすることができます。この一般質問のページは質問者が自ら執筆した原稿を掲載したものです。限られた字数のため、詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館に備えつけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。

小・中学校のエアコン導入方法と設置時期

鴻創会 並木 正年

問 リース方式を選択した経緯とガス式・電気式の導入方法と設置時期は。

答 学校間の設置時期に格差をなくし、早期に全校一斉に導入が可能な理由から、期間を10年とするリース方式といたしました。設置場所は全小中学校の普通教室と図書室・音楽室となります。ガスの供給エリアは「ガスヒーポン」という機器をその他のエリアは夜間電力を使用する「エコアイスミニ」という機器を導入し、7月中旬を目途に整備していく予定です。



市政3期目の成果を問う

鴻創会 金子 雄一

問 市政におけるマニフェスト事業の成果と来年度の取り組みは。

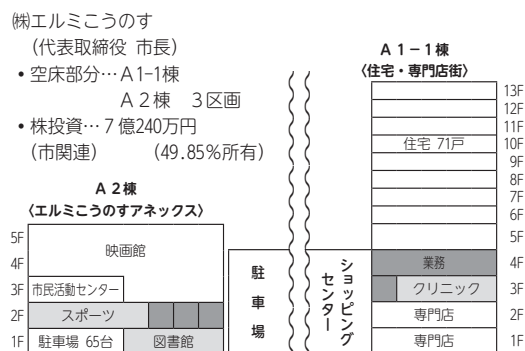
答 7プラン88の事業から構成した「レインボープラン88」を推進し、「新たなゴミ処理施設の整備の着手」や「小中学校の耐震化」などを行い、その進捗状況は、平成25年度末時点の見込みで72事業が目標を達成、目標達成率は80%を超える状況になる予定で市民の満足度も高い評価がなされています。来年度は、上谷総合公園整備事業、吹上地域保育園新設事業等を、またマニフェスト事業以外として、本庁舎別棟の建設や小中学校へのエアコン設置など柔軟かつ迅速な対応をしております。

ずさん経営再開ビル 買い手借り手なく7年おりつる

菅野 博子

問 鴻巣駅東口再開発ビルができて、7年目となる。この間買い手も借り手もない空床の要因と損害額、今後の経営策は。

答 (株)エルミここのすの空き床は住宅棟の4階部分、3階の1区画、アネックスの2階の3区画です。賃料等の交渉段階で成約に至っていません。



職員の人材育成の観点から伺う

公明党 川崎 葉子

問 職員研修のありかたは。また臨時職員も含め、職場環境は相談しやすい環境か。

答 職員の人材育成は最重要課題。「行政は最大のサービスである」との観点で、職員の基本的資質として必要不可欠な接遇研修は新規採用職員研修をはじめ、職場での指導者養成研修を実施し、向上に努めています。また人を育てる環境づくりは大変重要であり、主査級研修では聞き手としてのスキルアップを図り、管理職の人事評価研修でも職員の日常的な状況把握が大切なことを研修させています。

●その他、教師の指導力・災害時要援護者の支援者登録推進などの質問をしました。

体育館の使用料金の統一化を

やさしい改革 加藤 久子

問 体育館の使用目的は同じであるにもかかわらず、料金に違いがあるのは不公平です。使用料金の統一化を。

答 それぞれ建築年数の違いがあり、老朽化が著しいなどの課題がある為、現段階での統一化は難しいと考えます。

問 今年度新規事業として実施予定の病児保育は、来年度になるとの事。時期は。

答 平成26年4月からヘリオス会病院で実施予定です。

問 社会福祉協議会が多くの正規職員の雇用ができるよう補助金の増額を。

答 行政から働きかけることではなく、これは社会福祉協議会の問題です。

企業支援策

生活保護世帯支援策

公明党 橋本 稔

問 企業誘致条例施行から二年経った今の状況及び圏央道から離れている本市の優位点は。

答 26年度は条例利用し新たに3社が増えて7社に施設設置奨励金を交付する予定です。上尾道路開通等により隣接市町にないポテンシャルがあると考えています。

問 生活保護世帯・生活困窮者への支援強化策は。

答 担当ケースワーカーや就労支援相談員が効果的な指導、助言により自立・生活支援を含めた相談業務の充実に努めています。

問 その他、ひきこもり支援の為にサポーター制度について等の質問をしました。

答 その他、ひきこもり支援の為にサポーター制度について等の質問をしました。

空き家・空き地対策

要援護高齢者対策

新公会 加藤 孝

問 新空き家対策条例案の特色は。空き地対策の現状は。

答 新条例案では、空き家の撤去命令や行政代執行を行う場合、審議会の意見を聴くことができ所有者等が判明しない危険な建物の場合、応急措置を行うことが規定されています。空き地雑草の苦情は平成24年度193件で、この内68%が改善されています。今後空き地の放置者の公表等についても研究していきます。

問 要援護高齢者への対策は。

答 地域包括支援センターを中心に、電気、新聞、牛乳事業者等と支援ネットワークを結んでおり孤独死や虐待、徘徊等に対応しており、引き続き、情報共有に努めます。

総合病院建設予定地と施設整備計画の概要は

コスモスクラブ 中野 昭

問 本市は総合病院誘致に関し、「上尾中央医科グループ協議会」との協議を行っていません。そこで建設予定地及び施設整備計画の概要は。

答 建設地は無償貸与という条件で赤見台近隣公園を予定しています。施設整備計画の概要は、引き続き行う埼玉県との協議結果によりますが、現段階では病院の敷地面積は約5000坪、鉄筋コンクリート造5階建、病床数300床程度、診療科は14科であります。開設予定は埼玉県第6次地域保健医療計画の最終年度末の平成30年3月を目指します。

赤見台地内に総合病院を誘致

鴻巣フロンティア 長嶋 元種

問 市長は、市民の要望が高い総合病院の誘致に向け、民間の「上尾中央医科グループ協議会」と協議を始めました。総合病院の概要、建設後の病院と市福祉部等が連携し、ソフト事業を実施すること、来院者等の駐車場の整備は。

答 誘致場所は赤見台近隣公園を予定。病院整備計画は病院開設平成30年3月、病床数300床程度、診療科目は小児科、産婦人科等14科目で病床数や診療科目は県との協議事項です。ソフト事業は病院が持つ知識等を活かし、市医師会と連携し研修会や講習会等を実施してほしいと考えています。駐車場は協議します。

自治会未組織への対応は

鴻創会 坂本 晃

問 市内の自治会の現状は。また、自治会の組織されていない地域はあるのか。

答 本市の組織数は、鴻巣地域178、吹上地域31、川里地域34の合計243自治会となっており自治会加入率は89.9%となっています。広範囲にわたり自治会の組織されていない地域は、広田中央区画整理事業地内となっています。

問 その地域には今後どのように対応していくのか。

答 地域の核となる方々に自治会結成についてご意見を伺い、ご協力をいただくとともに、広報「かがやき」や閲覧文書等から各種行政情報が得られる自治会加入のメリットをお伝えしたいと考えます。

本庁舎の耐震工事、改修工事について

鴻友会 矢部 一夫

問 本庁舎に非常階段を設置できないか。市有施設の屋根貸し事業の内容は。

答 実際に災害が発生した場合、想定し得ないことが起こり得る可能性も大いに考えられます。今後、本庁舎の実施設計を行っていく中、避難経路の確保や非常階段の必要性を含めまして多方面から十分に協議を重ねてまいります。

問 市は、市有施設の屋根を太陽光発電業者に貸し出し使用料を得、事業者は太陽光発電設備を設置し、太陽光発電により得た電気を売電し収入を得ます。総合体育館、コスモスアリーナふきあげ、クレア鴻巣、箕田公民館の4施設を予定しています。

「健康マイレージ制度」導入の考えは

公明党 潮田 幸子

問 健康増進を楽しみながら取り組む仕組み「健康マイレージ制度」。特定健診やがん検診受診・健康教室参加等をポイントとして貯めて様々な特典がもたらえる事業であるが、本市で導入する考えは。

答 健康マイレージ制度は、健康づくりの関心をより高め、結果として健康増進だけでなく、増大する医療費や介護給付費について身近な問題として捉える啓発の好機となります。今後、調査研究していきます。

問 その他に行った質問
● 竜巻災害時の対応体制
・ 消防団の支援強化・拡充策
・ 東京五輪開催を鴻巣の発展につなげる結びつけるか

いじめ防止への取り組み「このす花」の今後

鴻創会 坂本 国広

問 いじめを原因とする小中学生の自殺等が問題となっています。学校での取り組みや教育支援センターの周知、年間スケジュールの作成や生徒会を中心とする取り組みは。

答 保護者会や学校便り等により生徒指導の方針を周知し、ホームページの充実を働きかけます。人権教育全体計画・年間計画を見直し、充実させます。生徒会が中心となる子どもたちの主体的な取り組みを各学校に働きかけます。

問 婚活支援事業の今後は。
答 このす花コン事業は今後も実施していく予定です。また、結婚を支援する観点から、市の常設の結婚相談窓口は、総合的に研究します。

小型家電リサイクル事業の本格実施は

かいえんたい 大塚 佳之

問 平成26年4月からの実施に先駆け、秋のイベントにて試行的に行った回収結果や本格回収の見込みは。

答 11月10日のかわさとフェスティバルにて、無料回収を実施しました。6時間で約450件800点以上の搬入がありました。掃除機、照明器具、扇風機等多くの品目でした。施行令で定める28分類を対象品目としましたが、それ以外の持ち込みも見受けられましたので今後の課題とします。本格回収は、月1回の拠点回収で検討しています。場所は、上谷ストック場を候補地としますが、4月当初は混雑が予想されるため市役所駐車場で回収予定です。

これからの地域福祉
計画の視点は

鴻友会 頼所 澄江

問 子育てや介護、高齢者の見守りや孤独死、虐待やひきこもりなど福祉問題は、複雑・多様化しています。これからの地域福祉は、地域住民の主体的活動により、人と人が支え合える豊かな地域コミュニティを築くことが重要です。本計画策定の視点は何か。

答 「共助」による地域づくりをさらに進めることを視点としています。策定にあたりアンケートやパブリックコメントを市民の声として織り込みます。福祉見守り員等、地域で支える担い手の育成を図ります。災害時要援護者の支援者確保は、鴻巣市地域福祉計画審議会において、支援者確保に向けて審議しています。

道路行政・路線バスの
コース変更について

鴻友会 織田 京子

問 鴻巣駅東口ロータリーから踏切までの道路は、幅が狭く2社のバスがすれ違う場合歩行者が大変危険な状況です。路線を三谷橋大間線を通るコースに変更する事は可能か。

答 市でもバス会社に何度も足を運び要望を伝えていますがコース変更が困難である理由は①鴻神社前交差点に右折矢印信号がない②三谷橋大間線は新しい道路なので交通量が安定していない③運行距離が1.2km長くなり約5分の遅れが生じる事等が挙げられます。



コウノトリの野生復帰
と圃場整備の整合性は

コスモクラブ 阿部 慎也

問 本市はコウノトリを野生復帰させるためのコウノトリの里づくり基金条例を制定しましたが、一方で圃場整備事業も積極的に支援するとの事です。当該事業はコウノトリの餌場を消滅させる事業です。双方推進であれば、野生復帰を断念すべきと思つが。

答 コウノトリに関しては当面ケージでの飼育を予定しています。先進市でも放鳥までに30年程度かかっていることから、本市においても相応の時間を要するものと考えます。従いまして、コウノトリの野生復帰を断念とまでは言わないまでも、長い年数をかけて検討を重ね取り組んでいく必要があります。

提出議案とその結果 (平成25年12月定例会)

議会では上程された議案を、それぞれが関連する4つの常任委員会（政策総務・文教福祉・まちづくり・市民環境）に付託し、審議を重ねます。その上で、各議案に対する賛成・反対の立場を起立によって表明します。

■全会一致の議案

議案番号	議案名	議決結果
第112号	彩北広域清掃組合を組織する地方公共団体の数の増加、共同処理する事務の変更及び同組合の規約変更について	原案可決
第114号	工事請負契約の締結について（渋井橋上部工工事）	原案可決
第115号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市総合福祉センター）	原案可決
第116号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市吹上福祉活動センター）	原案可決
第117号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市高齢者福祉センター白雲荘ほか2施設）	原案可決
第118号	鴻巣市重度心身障害者手当支給条例	原案可決
第119号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市あしたば第一作業所）	原案可決
第120号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市あしたば第二作業所）	原案可決
第121号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市吹上太陽の家）	原案可決
第122号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市川里ポプラ館）	原案可決
第123号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市共和こども交流の家）	原案可決
第124号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市こどもデイサービスセンター）	原案可決
第125号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市立吹上児童保育室ほか1施設）	原案可決